

平成 24 年度水生生物調査の結果について

愛知県環境部

愛知県では、水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価し、また、身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を図ることを目的に、昭和 60 年度から夏休みの期間を中心に、水生生物調査を実施しています。平成 24 年度は 90 団体 4,908 人の参加のもと、調査が行われました。

- ・調査で見つかった水生生物の種類と数から、水質階級を I (きれいな水) から IV (大変きたない水) の 4 段階で判定した結果、調査を行った 136 地点のうち水質階級 I と判定されたのは 41 地点 (30.8%) でした。
- ・矢作川等水系及び天竜川・豊川等水系では、水質階級 I や II (ややきれいな水) の地点が多く見られ、境川水系等では、水質階級 III や IV (とてもきたない水) の地点がやや多く見られました。

1 調査の概要



本調査は、「川の生きものを調べよう 水生生物による水質判定」(環境省水・大気環境局、国土交通省河川局編) によるものです。

水生生物には、その生息状況が水質汚濁に影響されやすい生物がいます。このことから、そのような水生生物を指標として水質を判定することができます。

本調査では、このような水生生物のうち、全国に広く分布し、分類が容易で、水質に係る指標性が高い、29 種類を「指標生物」としています。指標生物は、水のきれいさの程度に応じて 4 つの水質階級にそれぞれ分類されています。

調査で見つかった生物のうち、指標生物の種類と数から、I ~ IV の 4 階級で水質階級を判定しています。

水質階級と指標生物の関係

水質階級 I (きれいな水)	水質階級 II (ややきれいな水)	水質階級 III (きたない水)	水質階級 IV (とてもきたない水)
ナミウズムシ ヒラタカゲロウ類 カワゲラ類 ヘビトンボ ブユ類 アミカ類 ナガレトビケラ類 ヤマトビケラ類 ヨコエビ類 サワガニ 	コオニヤンマ コガタシマトビケラ類 ゲンジボタル オオシマトビケラ ヒラタドロムシ類 イシマキガイ ヤマトシジミ スジエビ (旧指標生物) 	ミズムシ シマイシビル タニシ類 ミズカマキリ イソコツブムシ類 ニホンドロソコエビ類 タイコウチ (旧指標生物) 	エラミミズ ユスリカ類 チョウバエ類 サカマキガイ アメリカザリガニ 
ヘビトンボ	コオニヤンマ	イソコツブムシ類	アメリカザリガニ

●平成 23 年度に指標生物の見直しが行われました。平成 24 年度については移行期間として、新指標生物と旧指標生物を併用して実施されました。平成 25 年度からは新指標生物へ完全に移行いたします。

2 調査結果の概要

(1) 実施期間

平成 24 年 5 月下旬～9 月下旬

(2) 実施地点

調査河川数：90 河川等（前年度 81 河川等）

調査地点数：136 地点（前年度 121 地点）

(3) 参加人数及び団体数

平成 24 年度の参加者は 90 団体 4,908 人（前年度 82 団体 4,218 人）でした。前年度と比較して、8 団体 790 人の増加となりました。

区分	参加人数（前年度）	参加団体数（前年度）
小学校	3,649 人（3,112 人）	57 団体（53 団体）
中学校	64 人（127 人）	3 団体（5 団体）
地域住民グループ等	1,195 人（979 人）	30 団体（24 団体）
計	4,908 人（4,218 人）	90 団体（82 団体）

(4) 主要水系別水質階級

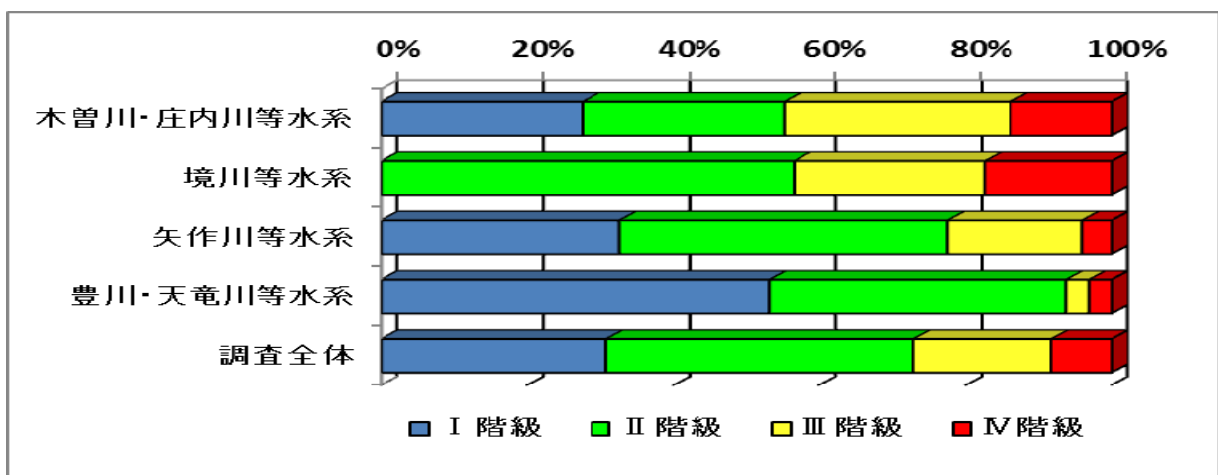
平成 24 年度については前年度より 16 地点多い 136 地点で調査が行われました。調査により判定された水質階級（Ⅰ～Ⅳ）の割合については、前年度と同様の状況でした。

主要水系別水質階級地点数

	水質階級Ⅰ	水質階級Ⅱ	水質階級Ⅲ	水質階級Ⅳ	合計
調査全体	41 (30.8%)	56 (42.1%)	25 (18.8%)	11 (8.3%)	133
木曾川・庄内川等水系	8 (27.6%)	8 (27.6%)	9 (31.0%)	4 (13.8%)	29
境川等水系	0 (0%)	13 (56.5%)	6 (26.1%)	4 (17.4%)	23
矢作川等水系	16 (32.7%)	22 (44.9%)	9 (18.4%)	2 (4.1%)	49
天竜川・豊川等水系	17 (53.1%)	13 (40.6%)	1 (3.1%)	1 (3.1%)	32
平成23年度(参考)	38 (31.7%)	53 (44.2%)	22 (18.3%)	7 (5.6%)	120

※136 地点中、指標生物が観察されなかったため水質階級判定不能の地点が 3 地点あった。

主要水系別水質階級割合



(5) 調査地点等概略図

調査地点等概況図

